

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和元年12月20日(金) 14時から15時30分
会 場	江古田区民活動センター 洋室 1・2・3号
テ ー マ	人生100年時代を生きる
出席者 区 民	計 8 人(男性 4人、女性 4人)
区 側	区長 基本構想担当課長 地域包括ケア推進課長 北部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
事務局	企画部職員3人、地域支えあい推進部職員3人
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ

今回は「人生100年時代を生きる」がテーマ。
人生が100年であるとする、65歳まで働いた場合、その後続く35年という時間をいかにして生きていくのか、生きていくべきかということについて、本日は議論いただきたい。また、寿命が延びている中で、雇用制度をはじめ、社会の制度は過去のままであるところも課題であると認識している。人生100年時代を生きるにあたっての課題や行政に期待することについても話し合っていたいただきたい。
江古田地域は、見守り・支え合い活動をはじめ、地域活動が盛んな地域と承知している。現在、検討している中野の10年後のまちの姿を描く「中野区基本構想」においても、地域コミュニティをいかに形成し、保っていくかが最大の課題と認識している。今後の地域のつながりのあり方などにもご意見をいただきたい。

各グループの発表概要

■地域のつながり強化と情報の伝達について

- ・地域のつながりを強化するためには、区の情報や町会の情報を全ての家庭に行き届かせる必要がある。
- ・区からの情報や各町会のお知らせ等を伝えるにも、町会・自治会の加入率が区全体で40%程度と低く、情報の伝達に限界があるところ、町会への加入率を上げることが課題。
- ・区報については、リニューアルし、カラーになったことで読みやすくなるとともに、「人」に焦点を当てた記事に、区長の区民を大切にする姿勢が反映されており、好感が持てる。
- ・地域の情報をしっかりと各家庭に届ける必要性から、地域ニュースの全戸配布の回数も現行の2回から増やしてほしい。

■環境の改善について

- ・緑を増やしてほしい。
- ・中野区歌の歌詞にあるような区の姿を次代に残したい。
- ・増えていく空き家について対策を講じてほしい。

■生涯学習大学

- ・生涯学習大学をきっかけに社会に何かしないと。今は子どもたちに囲碁を教えている。
- ・区長は、区報で区民は「人財」と言っていた。中野区はその「人財」、生涯学習大学の対象人数が増えているのだから、世代間交流、異文化交流に活かしてほしい。

■地域コミュニティ・共生社会

- ・障害者と接する機会、子どもと接する機会を行政から創出してもらいたい。

■区内の設備など

- ・スーパー等出掛ける先々にベンチや椅子がない。

■人と人の対話

- ・人と人がふれ合う時間が大事だ。
- ・地域で生きていくために地域の人と融和するために、「話し合う」ことが基本で、大切なことだ。中野区は、話し合いの区となってほしい。
- ・心の成熟は15~24の時、この年齢にできるだけ多くのことを経験して基盤を作る必要がある。
- ・変化が激しい時代で思いを形にするのが難しい時代だ。言いにくい思いがあるのだけど、胸にしまっている。

発表に対する区長のコメント

■地域のつながり強化と情報の伝達について

・地域のつながり強化にあたり、居住地域の情報が各家庭に行き届かないということは重大な課題だ。回覧板のない地域では、地域の情報を掲示板で確認するしか方法がないので、地域ニュースの全戸配布等は重要な取組であると認識している。

■環境の改善について

・緑化に関しては、近年、広い土地の相続・売却により、緑が大きく減少しているものと承知しており、生け垣等を設置する区民の方への助成の取組等を行っている。
・空き家及び賃貸住宅の空き室については、区全域で2万5000戸以上あり、その対策に努めている。特に戸建ての空き家の利活用については今後の課題である。

■生涯学習大学について

・生涯学習大学は、定員200人に対して100人前後しかいない。生涯学習大学の開校式で、「地域の担い手になるためがんばってください」という話をしたところ、30人程度の辞退があった。地域に必要なことは何か考えなければならない。

■地域コミュニティ、共生社会について

・地域には、町会だけでなくいろいろなコミュニティが存在している。皆さんがどこかに属して、誰かとつながっているというのが区がめざすこと。
・世代間の交流、障害のある方との交流、外国人の交流を増やしていきたい。

■区内の設備などについて

・ベンチ、椅子はこれからのまちづくりのキーワード。出掛けたいけど休む場所がないということがある。

■人と人との対話について

・憩いの場所、ちょっと集える場所を作りたいと思っている。
・話すことが大切ということに共感した。対話はキーワードのひとつとして、基本構想の中にも入れたいと考えている。人と人が対話するということを大切にしていきたい。
・タウンミーティングの形式は、区長になったら変えようと思っていたことの一つ。グループになって区民の皆さんが対話する。うまくいかないこともあるかもしれないが、対話の大切さを共有する人が増えれば対話の中野区になっていく。
・今日ご参加いただいている皆さんには、今後も対話の場に参加してほしい。